

石野教室だより 6月 4教室合同版 (学習塾・そろばん・書道・英会話)

新学期が始まって2ヶ月が経ちました。

新しい生活にもそろそろ慣れた頃ではないでしょうか？

6月は、季節でいえば梅雨。雨が多く鬱陶しい季節です。

今年は早く梅雨に入ってしまった。

気温も高くなり、大人も子どもも何かと体力を奪われがちな季節ですね。

規則正しい生活を心がけ、体調を崩さないよう気をつけましょう。

マスク着用の件ですがこれから暑くなりますし、つけてもつけなくても構いません。

ご家庭の判断でお願いいたします。指導者はしばらくつけます。



個別指導塾のお知らせ

授業のスピードもこれからだんだん速くなってきます。

習い事や学校の宿題と大変ではありますが教室の宿題も時間をやりくりしながらがんばってやっていきましょう。

「勉強のやる気が上がる親の習慣 TOP3」

とにかく言わなければ勉強しない、自分から進んで勉強しないなど、お子さんが勉強しないと、親として不安になると思います。

子供自身やる気を起こすのにもっとも大切なのは親子関係が良好であるということがポイントのようです。

ではどのように良好な親子関係を作っていけばよいのか3つ挙げますので参考にしてください。

求められたらサポートする

やる気を高めるために、親のサポートは不可欠です。

しかし、求められてもいないアドバイスや口出しは、子どもにとっては余計なお世話です。

求められたときにサポートをすることで、子どものやる気と勉強効率が上がります。

たとえば、

- ・「時間がないから丸付けやって」と言われたら手伝う
- ・疲れてそうと思ったら「おやつ用意しておいたよ。手伝えることあったら言ってね」と声をかける

このように必要なタイミングでサポートをすることで、子どもは勉強を頑張ることができるのです。タイミングがくるまでは、待ちましょう。

「勉強しなさい」と言わない

小学校低学年までは「勉強しなさい」と言えば、素直に言うことを聞いてくれていたと思います。

しかし高学年以降は、そうもいきません。

自我が芽生え、基本的に親の指示は聞いてくれなくなるからです。

「勉強しなさい」と言わなくても勉強する子の親は、「子どもが頑張りたいくなる仕組みづくり」をしています。



たとえば

100 番以内になったら 500 円、50 番以内になったら 1000 円など、子どもにとって勉強がプラスになるようなごほうびを作っています。

お小遣いである必要はありません。

子どもによっては、シールを貼ったり、一緒に勉強したりするだけでもやる気が出る場合があります。

子どもの好きなおかずをたくさん作る



ごはんを勉強って、実は大きく関係しています。

好物を作ってもらえることは子どもにとって嬉しいことであり、親の愛情を感じるからです。

すると親子関係が良くなり、勉強を頑張るためのエネルギーがたまります。

親子関係が良くなれば、子どもは家にいるだけで学校や勉強のストレスを解消できるようになるでしょう。

オール4以上の子どもの52%は「親子関係が非常に良好」というデータも出ています。

子どものやる気を引き出すために、子どもの好きなおかずを作ってみてはいかかでしょうか。

そろばん教室からのお知らせ

今回初めてそろばんの検定を受けた生徒さんがいます。

とても緊張して、ドキドキしたと聞いておりました。

また、初めて段の検定を受けた生徒さんもおります。

段は会場で受けますが、張り詰めた緊張感があり手も震えるほどだと聞いております。

大人からみたら検定はただテストを受けるみたいな感じでしかないのですが、子供にとっては、緊張したり、合格するために練習したりと検定に対する思いが大人と違うのだと感じます。

合格しても不合格であっても成長の場であること、さまざまな経験の積み重ねが子供の成長なのだと感じた5月検定でした。

いつもの調子がでなくて不合格ということはよくあることです。

そんな時は温かい言葉をかけてあげてください。

一番落ち込んでいるのは子供さんなのですから。



お知らせ

4月から教材やプリント類が値上がりしております。

今までは在庫分がありましたので、そのまま以前と同じ金額でお渡ししていたのですが、そろそろ在庫がなくなり、級によっては値上がり分を出している状況です。級によって在庫分と値上がり分の教材が混在しますので、金額がそれぞれに違ってきますのでご了承ください。

また、今まで仕入れていた文鎮（ブンチン）の会社が廃業され安い文鎮が入らなくなりました。

定価 1100 円のをまとめて買うことで 600 円にして貰っています。今後 600 円で購入いただくようになりますので、家にある方はぜひそれをお使いください。そろばん 2 の本が終わるころ封筒にブンチンと書いてお渡ししますので、お持ちの方は持って来てください。

ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。



書道教室からのお知らせ

広島書道展に出展された生徒に作品と賞状をもって帰ってもらいました。

一生懸命頑張って書いた作品です。

ほめまくってあげてください。

賞状だけの生徒もいますが今年は県立美術館に展示してもらえるよう頑張りましょうね。

その作品の字だけは2か月間練習しますのでその字は上手くなりますよ。

しかし他の字は上手く書けません。

色々な字が上手くなるにはたくさんの字を書いていくことが必要です。

その為にも毛筆を持ってくるようにしてくださいね。

毛筆を持ってくる学年

6月5日	12日	19日	26日
3年6年	4年5年	中高生 2年で6級以上の人	持って来てねと いった人

外国人講師の英会話教室



どんなことでも継続は力なりと言いますが

英会話はまず英語と日本語とを聞き分けること

から始まります。日本語になっている英語も発音や音にしない単語があります。

最近気になったのが2つのことをダブルといいます。

が英語ではダボーのような言い方です。

聞いてすぐはきれいな発音なのですよ。

しかしダブルに慣れているためでてくるときがありますね。

グリーン・ブルーなどは日本が英語と同じような発音ですね。

色のオレンジと果物のオレンジは少し違います。まず発音の違い・聞き取りができるようになってから

英会話といえ直ぐに英語が話せるわけではありません。

しかし聞いたことのある言葉は話すことができます。

それが大事なのです。日本語でも英語でもたくさんの言葉を聞くことで話せるのです。

知らない言葉は話せないのどとにかく聞くこと

その環境にいることが必要です。

日本語でも模倣時期には自然にまねっこしています。

そこからです。ものおじせずまだ恥ずかしいと思わない時期この時期が黄金期です

工作教室



ちょっとした環境ときっかけがあることで、子どもたちは創造性を発揮し始めます。工作の教室では、毎回、子どもたちが自分で発見して考えて工作ができるように工夫をしています。作るものや作り方が具体的に決まっていると面白くないですし、自由度が高すぎても何を作っているか分からなくなってしまうんです。道具や材料があるだけでは、なかなか工作はうまくできないこともあります。

ですが、ちょっとした環境ときっかけがあることで、子どもたちは自分自身で発見し、考えたことや思いついたことを表現します。それが工作の魅力であり、自分の手で何かをつくる楽しさにつながっていきます。

6月の工作教室は、「風車のしくみを理解して、回るお花をつくってみよう！」です。さて、どんな作品ができるのでしょうか。楽しみにしていてくださいね。

6月18日（日）の10時から開催です。
詳しくはこちら

<https://kosakucourse.sszukan.com/mawaruohana/>

工作の教室では、毎月違う内容を行っています。
初めての方もぜひお気軽にご参加ください。

参加申し込みの締め切りは6/11（日）です。
このラインからお申し込みください。



5月の工作教室では、「動かすと色がつく絵」をつくりました。
生徒さん一人一人が工夫を凝らして制作をしていましたよ。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://kosakucourse.sszukan.com/report002/>